

データサイエンス共同利用基盤施設
令和 7 年度 第 1 回企画会議 議事録

日 時：令和 7 年 6 月 3 日（火）14:00～15:30

場 所：ハイブリッド形式(神谷町機構本部会議室及び Zoom 使用)

出席者：

喜連川委員、椿委員（議長）、小原委員、門倉委員、前田委員、北本委員、野口委員、佐藤委員、中野委員、石川委員、千野委員、小林委員、野木委員、黒橋委員、山下委員、近藤委員、高見澤委員、今村委員、沼田委員、荒井委員、鈴木委員、成田委員

オブザーバー：

柴山理事、伏見理事、斉藤副機構長、中川機構長特別補佐、木戸機構長補佐、村上監事、門田監事

陪席者：

本部事務局・研究所事務担当者、細谷 DS 推進室 URA、金川 DS 推進室特任専門員、濱企画連携課専門職員、山田 DS 推進係主任、小暮 DS 推進係事務職員

【審議事項】

1. 令和 7 年度人事について
2. 目的積立金（追加）の取崩申請について
3. 令和 6 年度自己点検評価について

【報告事項】

1. 令和 7 年度 DS 施設内予算について
2. 令和 8 年度概算要求（案）について
3. 副センター長の管理職手当等について
4. 令和 7 年度公募型共同研究の申請状況等について
5. （中期計画 P28）国際戦略アドバイザーの助言に基づくベンチマーク機関候補の選定と機構の機能強化に係る提言について

【報告・意見交換】

議事概要：

議事に先立ち、議長から、定足数を満たしており本会議が成立することが報告された。

【審議事項】

1. 令和 7 年度人事案件について

小林委員、小原センター長、前田センター長及び石川センター長から、資料 1－1～1－10 に基づき、説明があり承認された。

また、喜連川施設長から、研究所との兼務者についての人事案件については、承認が遅延しないよう、研究所と DS 施設での審議方法について、調整を図るべきである旨指摘があり、今後、検討を進めることが確認された。

さらに、喜連川施設長から、審議用資料の年齢の非表示等個人情報表示について、審議内容に応じて見直すべきではないかとの意見があり、今後、対応することとなった。

2. 目的積立金の取り崩しに伴う予算の申請等について

中山企画連携課長から資料2に基づき、データレイク研究開発センターの令和7年度事業のために目的積立金の取崩しを追加申請することについて説明があり、了承された。

3. 令和6年度自己点検評価について

小林委員から、資料3に基づき、自己点検評価項目については、全て順調に進んでいる旨報告があった。

また、機構ホームページに掲載する自己点検評価報告書のDS施設に関する令和6年度のトピックについて、データレイク研究開発センター及びセキュアコンピュータシステム研究開発センターを取り上げることにについて報告があり、喜連川施設長からデータレイク研究開発センターの図について、SIPに限定しないセンター業務全体に関する説明図に変更する提案があり、差し替えることとなった。

【報告事項】

1. 令和7年度DS施設内予算について

小林委員から、資料4に基づき、前回企画会議で提示した「予算の大きな方向性」の方針に沿って令和7年度のDS施設内の各センター等の予算を配分した旨報告があった。

2. 令和8年度概算要求（案）について

小林委員から、資料5に基づき、前回企画会議で報告したとおり、コンジリエント基盤センターのデータ関連部門の要求等について、今後文科省等と必要な調整を行っていく旨報告があった。

3. 副センター長の管理職手当等について

資料6に基づき、管理職手当の支給対象職員に、セキュアコンピュータシステム研究開発センターの副センター長を追加することについて椿議長から報告があり、石川委員から、管理職手当支給の必要性について補足説明があった。

また、喜連川施設長から、センターに設置する副センター長の設置数については、一定のルールを設けることが必要である旨意見があり、今後、DS施設において検討することとなった。

4. 令和7年度公募型共同研究の申請状況等について

小林委員から、資料7に基づき、令和7年度公募型共同研究の申請状況について、64件の申請があり、うち27件が新規申請であったこと及び2025年度の採択案については、メール審議で行うことについて報告があった。

また、公募型共同研究に関するDS施設の成果、DS施設と4研究所及びその他の機関の状況の比較データ等及びDS施設の公募型共同研究の見直しに関する意見等をまとめたレポート

を配布提供した。

さらに、斉藤副機構長から ROIS の公募型事業の見直し方針についても発言があり、喜連川施設長より本部と DS で連携して検討を進めるよう指示があった。

5. (中期計画 P28) 国際戦略アドバイザーの助言に基づくベンチマーク機関候補の選定と機構の機能強化に係る提言について

小林委員から、資料 8 に基づき、極域データサイエンスセンターから委嘱した国際戦略アドバイザーにいただいた極域センター及び DS 施設・機構についての助言やベンチマーク機関に関する意見について、本部とも調整しつつ、検討を進めていく旨報告があった。

また、門倉委員から極域データサイエンスセンターの国際的取組などについて報告があった。

【報告・意見交換】

近藤委員から、ゲノム基盤モデルを中心とした遺伝研の取組と文科省ライフサイエンス課長の参加、DS 施設の BSI 拠点、DBCLS、ゲノムデータ解析支援センター等を含めた遺伝研改革の方向性について報告があった。これに対して、新しい DS の方向にも合致しているなど支持する旨の意見が出され、また、中期計画の変更にもつながることから遺伝研の組織改革の断行が必要である旨の意見も出され、喜連川施設長からも、方向性を ROIS として支援する旨意見があった。

次回会議は、令和 7 年 10 月 1 日（水）午後を開催することを確認した。

資 料：

0-1 企画会議委員名簿

0-2 データサイエンス共同利用基盤施設企画会議規程

0-3 令和 6 年度第 7 回企画会議議事概要

1-1 令和 7 年度人事審議対象者リスト

1-2-1 昇任人事

1-2-2 ゲノムデータ解析支援センター 任期更新

1-2-3 ライフサイエンス統合データベースセンター 採用

1-2-4～8 社会データ構造化センター 客員新規

1-2-9～10 セキュアコンピュータシステム研究開発センター 客員新規

2 データレイク研究開発センターの運営に係る目的積立金の取崩申請について

3 令和 6 年度自己点検評価について

4 令和 7 年度 DS 施設運営費交付金内訳

5 令和 8 年度概算要求（案）の概要

6 管理職手当の支給対象職員の指定等について

7 令和 7 年度公募型共同研究の申請状況等について

8 (中期計画 P28) 国際戦略アドバイザーの助言に基づくベンチマーク機関候補

の選定と機構の機能強化に係る提言について

※黄色マーカー資料：データサイエンス共同利用基盤施設企画会議規程第3条第1号から第4号まで並びに第6号の委員及び施設長が必要と認める者のみに配布